

認知症対応型共同生活介護 自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

法人名	株式会社サザンツリー	事業所名	グループホームサザンツリー
所在地	姫路市飾西330番地		

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I. 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	毎朝朝礼で、理念を唱和、スタッフ会議・運営推進会議で情報共有、HPに掲載し、折にふれ再確認している。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、入居者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	毎日の散歩時、近隣住民へのご挨拶やおしゃべり、地域の美容院を定期的に利用して交流している。同じ美容院から訪問してもらって、地域の情報を聞く機会になっている。	入居者と親しくして下さっていた近隣住民の方が高齢になられ、一人暮らしとなる方が増えている。このような方々にこちらからお声がけしていく役割を果たしていきたい。		
3	運営推進会議を活かした取組	運営推進会議では、入居者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	認知症や認知症の方への理解が深まるよう、毎回、タイムリーなトピックを取り上げて、参加者に役立てていたできるようつとめている。	入居者の要介護度・平均年齢等の状況を報告している。令和7年度は、ホームでカスハラ問題が発生し、参加者の方から、他事業所でも同様の問題に直面していることをお聞きした。		

4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	包括センターの方、地域民生委員の方とは、日ごろから会話の機会を設け、話しやすい関係を構築している。	入居者様の高齢化や重度化により、自立歩行で外出できる方が限られてきた。そのため、活発な交流がしにくくなっていることを伝えた。		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	スタッフ会議において、身体拘束ゼロ推進員会を開催している。禁止の対象となる事例を様々な角度から繰り返し取り上げて、研修している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	令和6年度、複数回にわたり入居者が所在不明になってしまったことを受け、スタッフがこまめに見守りを行うことで、施錠することなく、所在不明インシデントは0件であった。
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、入居者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	身体拘束ゼロと共通する部分が多いため、同時に研修を実施している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	故意の物理的な虐待は起きていない。いつもスピーチロックによる心理的な虐待がないよう注意喚起している。
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	現在は成年後見人制度を利用している入居者がいないが、定期的に関連情報に目を通している。			
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、入居者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居契約書、重要事項説明書に記載されている事項を1時間程度かけて、丁寧に説明している。不明な点は例を挙げて詳しく説明する。記載内容が、よりわかりやすくなるよう見直しを行った。			

9	運営に関する入居者、家族等意見の反映	入居者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者の反応や家族の意見は、些細なことでも厳粛に受け止めて、すぐに改善するようつとめている。スタッフ会議で、内容を周知徹底している。		Ⓐ. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族によっては、思いもよらない内容について説明を求められることがある。事業所の標準が家族には見慣れないものであることを意識したいと思う。
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	勤務始めや勤務終わり、報告時などに様子を聞いたり、年1回のアンケートなどで出た意見を他の職員に共有して、改善するようつとめている。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	Ⓐ. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員には、年に1回の業績振り返りと自己評価を提出させるとともに、代表者は日々職員にこまめに声かけをして、困りごとがないか聞き取りをしている。		Ⓐ. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	休憩時間をとりやすい環境をスタッフ全員で意識してもらうよう指示している。業績のよい職員には賞与や昇給額で評価している。
12	職員を育てる取組	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員の勤続年数、経験年数、適性、目標などに応じ、無理なく個人のペースで落ち着いた働けるよう個別の配慮を行っている。勤続年数が長い、モチベーションが低い職員の対応が難しい。		Ⓐ. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	現在、職員の平均勤続年数は9年で、比較的安定している。勤続年数やモチベーションに応じて、適切な役割を割り振っている。
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている Ⓒ. あまりできていない D. ほとんどできていない	重度化、高齢化により、入居者様に手が掛かることが増えて、なかなか交流の機会を得ることができていない。			

14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	徐々に機能が低下していく中、できるかぎりたくさん笑顔を見られることを目標に、思いを込めてお声がけし、コミュニケーションをとるようにしている。			
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入居後も家族や友人との関係が継続できるよう、面会・電話・オンライン面会などの機会を設けている。自宅への外泊や入居前に利用していた外出先へ行かれる方もいる。	コロナ禍で長い間交流に制限があったが、現在では、自由に家族との外出や外泊を楽しんでいただいている。他の事業所よりも、自由度高いようである。		
II. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入居者のちょっとした言葉や訴えを職員それぞれが受け止めて、それを共有することで、ケアやケアプランに生かしている。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	家族に最近のご様子をお伝えするときに、家族の特性を把握したうえで、適切に伝えるようにしている。ケアプランの内容をよく読んでからお伝えするようつとめている。	参加者に家族が含まれているので、職員によるケアプランの説明について、わかりやすいか、どのようにお考えかをお聞きした。	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	ベテラン職員が多く、どの入居者についてもモニタリングができ、多くの職員が細かいことまで把握できている。一方で、マンネリ気味の者もいるので改善したい。
	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	個別記録は、端末に移行したため、内容は短文化し、読みやすくなっている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	記録が詳しく、こんなに観察してもらえるのですね、と言われることもある。

19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々 に生まれるニーズに対応して、 既存のサービスに捉われな い、柔軟な支援やサービスの 多機能化に取り組んでいる	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	看護師の定期訪問と、 看取り体制の整備も行 った。より長くグループ ホームで生活を継続し てもらいやすくなった。	グループホームの多機 能化は、事業所のワン オペ的な側面もある。職 員が覚えることが増えて いるが、おおむね好評で ある。家族にも好評。		
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている 地域資源を把握し、本人が 心身の力を発揮しながら安全 で豊かな暮らしを楽しむことが できるよう支援している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入居者の高齢化や重 度化で、気軽な外出や イベント参加は減少し ている。毎日の散歩だ けは継続して、近隣の 方に見守っていただき たい。	民生委員の参加者は、 引き続き、散歩で見かけ る入居者の様子を話し てくださった。顔ぶれが 変わりましたね、など見 守ってくれている。		
21	かかりつけ医の 受診支援	受診は、本人及び家族等の希 望を大切に、納得が得られた かかりつけ医と事業所の関係 を築きながら、適切な医療を受 けられるように支援している	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入居前から利用してい る医療機関や訪問診 療を継続できる。往診 を利用する入居者には 職員が立ち会い、適切 な診察・治療が受けら れるよう支援している。			
22	入退院時の医 療機関との協働	入居者が入院した際、安心して 治療できるように、また、でき るだけ早期に退院できるように、 病院関係者との情報交換や相 談に努めている。あるいは、そ うした場合に備えて病院関係 者との関係づくりを行っている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	各医療機関の医師や 看護師と密に連絡をと り、入居者が適切な治 療を受けられるよう情 報提供書の作成等さ まざまな支援を行って いる。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	事業所と医療機関が 連携し、スムーズな入 退院ができるようにし ている。最近では、医 療機関がより力を入れ ている。
23	重度化や終末 期に向けた方 針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあ り方について、早い段階から本 人・家族等と話し合いを行い、 事業所でできることを十分に説 明しながら方針を共有し、地域 の関係者と共にチームで支援 に取り組んでいる	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	先述の通り、正式に重 度化した場合や看取り の場合の体制を整備し たので、作成した指針 を、家族全員に確認し ていただいた。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	本年度も1名の入居 者様を看取りした。家 族は毎日夜間にも来 ていただけるようにし、 最期は無事に逝去さ れ、家族にも大変感謝 された。

24	急変や事故発生時の備え	入居者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	体調急変時にどう行動するか、マニュアルをもとに、定期的な研修を実施している。いつ発生しても慌てないで動けるようにしている。			救急搬送があった場合は、必ず情報共有する。実際に経験すると自信がついて不安が軽減していく。
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず入居者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	年2回、避難訓練を実施し、災害の種類に応じて、どのように対応すべきかシミュレーションしている。	災害時の避難方法や避難先について情報共有している。地域住民との合同訓練の機会は持っていない	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	年2回、避難訓練を実施していると報告を受けている。災害時の備蓄品をどこまで準備するか悩ましいとのこと。

Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	忙しいと、ついプライバシーを無視した対応をとる者がいるので、繰り返し研修を実施している。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	経験とともに向上する職員と、経験が長いと思ひ込みで動く職員がいる。後者の指導が大切である。
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	尊厳を大切に対応するよう研修している。自分の思う通りに動いてくれない入居者にいら立つ職員は、配慮のない対応をとりがちである。引き続き指導していきたい。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、入居者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入居者とお弁当やおやつを一緒に作ることを定期的に行っている。「なつかしい」などと記憶を呼び覚ます効果があると感じる。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	写真を見たり、聞いたりしていると、私たちの自宅での食事より充実していると感じる。季節感のある食事もいいと思う。

29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	食事量・水分量を毎日記録している。十分な摂取量が確保できない入居者には、個別の方法で栄養を摂取できるようつとめている。			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	ひとりひとりについて、口腔ケアの最初から最後までを見守ることが難しいが、苦手な方には付き添って清潔保持ができるよう心がけている。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入れ歯の紛失があった。入居者に管理を任せきりにせず、外したら入れ歯ケースに収納する習慣を欠かさないよう徹底したい。
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	排泄に失敗しがちな方のパターンを見極め、早めにトイレ誘導を行っている。排泄に立ち会えない方には、トイレの回数を見守っている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	一時帰宅時や、外出時、排泄に付き添うと、処理などが大変なことに気づかされると、よく感謝されることがある。排泄の苦勞について、家族の理解があるのはありがたい。
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入浴を拒否された場合の声かけでは、清潔保持のためとはいえ、強制的にならないよう指導している。入浴を怖がる方には、楽しみながら入浴できるよう工夫している。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	夕食後、口腔ケア、トイレ誘導をして、スムーズに就寝に入れるように準備している。夜中に起きる方には、他者に影響が出ないように配慮している。			

34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	おおむねできているが、飲み忘れや薬が足りなくなるなどの事象があるので、限りなくゼロにするよう、確認を怠らないよう徹底していく。		Ⓐ. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一度処方されたお薬が、不要になっているのに継続して処方されているケースでは、職員より主治医に相談して精査してもらっている。
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	Ⓐ. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	できないことではなく、できることに目を向けるよう指導している。できることを奪ってしまわないよう、気を付けている。	自分だけ手伝いをさせられている気分になってしまっている方が多い。できることが、かけがえのないことであることを伝えていきたい。		
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	Ⓐ. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	マンツーマンの近隣の散歩ができることを事業所のアピールポイントとしている。社会とのつながりが継続できる手段である。家族への外出支援もお願いしている。	歩行できる距離に応じて出かけている。複数の入居者で散歩に行きたいと訴えがあったが、人によって歩行の状態や距離が大きく異なるため、安全の観点から見守り人員の関係でいつもは難しいとお伝えした。		
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり、使えるようにしたりできるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている Ⓒ. あまりできていない D. ほとんどできていない	買い物に出かける機会は非常に少ないが、日用品を購入したい方には、近所のドラッグストアに職員が付き添って行う。			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙をやり取りしたりできるように支援をしている	Ⓐ. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族からの手紙、電話、オンライン面会など、可能なコミュニケーションがとれるよう整備しており、利用していただいている。			

39	居心地のよい 共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、入居者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	居室は、家族の写真や絵を飾っていただいている。リビングには、毎月、季節感のあるディスプレイ作品を作って飾り、季節の移り変わりを感じられるようにしている。ディスプレイは、入居者に手伝ってもらっておしゃべりしながら行っている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	いつも掃除が行き届いている。花壇には季節の草花が植えてあり、外観からも季節感が感じられるようにしている。植えてある草花を見て感想を述べられる入居者もおられる。
----	-------------------	--	---	---	--	---	---

IV. 本人暮らしの状況把握・確認項目(入居者一人ひとりの確認項目)

40		本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができています	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入居者がどのような場面で笑顔になるか、ちょっとした会話で引き出せる気持ちなどに、共感しながら、穏やかに過ごせるように支援している。			
41	本人主体の暮らし	本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができています	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入居時に収集したプロフィールや生活歴、利用していた施設の情報提供書をしっかりと読み込み、ケアに最大限活かすようにしている。			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができています	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	本人はもとより、家族の希望を聞き取って、毎日職員が観察したこととニーズを鑑みたケアを行っている。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入居者が家族に不満などを話している内容と、事業所内での職員に訴える内容が異なる場合、相互理解のため家族には慎重に説明している。

43		本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	家族の協力が必要であるが、入居前に利用していた医療機関の継続、よく出かけた温泉・飲食店への外出・外泊等ができている。			
44	生活の継続性	本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	本人が見ていて落ち着ける、なじみのある持ち物を持ち込むことができる。携帯電話で好きなときに家族に連絡できる。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	広さも十分で、清潔なお部屋で、写真を飾って落ち着ける空間になっている。
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができる	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	本人は、家族の協力もとの、希望する外出、診察、美容院などに出かけることができている。	近距離ではあるが、お花見やピクニック外出、家族付き添いでの外出・外泊、必要な診察などで、外出の機会があることをお伝えしている。		
46		本人が持つ力の活用	本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	本人ができること、できないことをリストにして、できることを継続し、役割を果たす楽しみを感じていただいている。		
47	本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	会話の時間、レクリエーションの時間、おいしい食事の時間で、笑顔になってもらえるようつとめている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	訪問すると、歌声やゲームの笑い声が聞こえてくる。集団生活のため、入居者同士が言い合うことがあると聞かすが、メリットとデメリットはあると思う。

48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができている	A. 十分にできている Ⓑ . ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎日の散歩では、近隣のなじみの方から声をかけてもらい、野菜や花をいただくなどの交流がある。	入居者から積極的にかわりを持つことは難しいが、職員を介して、近所の方との情報交換もできていると伝えている。		
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	Ⓐ . 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	多くの方はおおむね安定して過ごされている。だが、人と一緒にいることにストレスを感じて、ちょっとしたことでふさぎ込む人もい。悪循環にならないよう、その方に応じた接し方を考えながらケアしている。	家族がまったく面会に來られない入居者は、職員に十分かわってもらっていて、思い切り怒ったり笑ったり、それはそれでとても幸せに生活していただけているという自負がある。	Ⓐ . 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	今回、重度化した場合や看取り体制を整えられたことで、利用できるかとは別として、選択肢が増えたことはありがたいと思う。半面、いわゆるミニ特養化が進むことが懸念されること。